

編集 後記

新年あけましておめでとうございます。1月から編集委員長を務めております上原里程です。会員の皆様とともに公衆衛生の発展に寄与する学術雑誌を目指して参りたいと思いますので、どうぞよろしく願い致します。新型コロナウイルス感染症対策に年末年始を返上し日々奮闘されていらっしゃる会員の方々には心より敬意を表します。一日も早く流行が終息に向かうことを願わずにはおれません。

さて、第68巻1号では原著3編と資料1編を掲載しております。昨年10月に早期公開が始まり、最初に公開された4編の論文が今回の掲載論文です。小田らは、リハビリテーション提供時間と日常生活動作との関係を病床機能報告制度のデータを用いて検討しました。悉皆調査である病床機能報告制度を用いる利点と病床レベルでの検証という課題について言及しています。佐々木らは乳幼児健診の問診データを活用し幼児期の甘い間食の習慣的摂取と生活習慣との関連を分析しました。甘い間食の習慣的摂取と1歳6か月時点での仕上げ磨きなどの口腔衛生行動との間に示唆に富む関連が示されています。藤田らは介護保険の一次予防事業対象者を対象としてロコモ度と認知機能低下の関連を横断研究として検討しました。男女ともにロコモ度が高いことが認知機能低下と関連していることが示され、縦断的な検討の必要性を述べています。資料は平成28年歯科疾患実態調査の協力状況と生活習慣との関連を国民健康・栄養調査とのレコードリンケージを行い検討した安藤らの論文です。従来の口腔診査に質問紙調査が加わった歯科疾患実態調査への協力者増加をいかに図っていくのかについて検討しています。

本誌では質の高い原著論文はもとより、多くの現場実践に役立つ公衆衛生活動報告も皆様にお届けしたいと思っておりますので、自治体等現場での取り組みなどを公衆衛生活動報告としてご投稿くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
(上原里程)

次号予告 (第68巻・第2号)

特別論文

地域歯科口腔保健の現状と課題：公衆衛生モニタリング・レポート委員会口腔保健分野 活動総括……………三浦宏子，他

原著

習慣的な排便状況と便性状を評価する新しい質問票の再現性・内的妥当性の検討…大野治美，他
市町村国保の特定健診受診者における ultra-processed foods の利用と栄養素等摂取状況および肥満度との関連……………小岩井馨，他
一般集団における精神的苦痛を有する者の受療行動に関連する要因の検討……………塚崎栄里子，他

資料

精神疾患のある親をもつ子どもの体験と学校での相談状況：成人後の実態調査……………蔭山正子，他